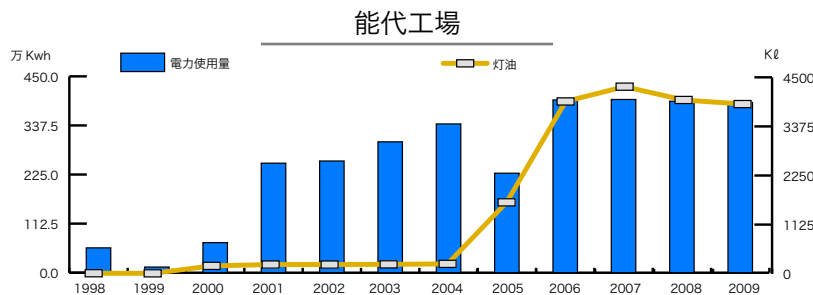
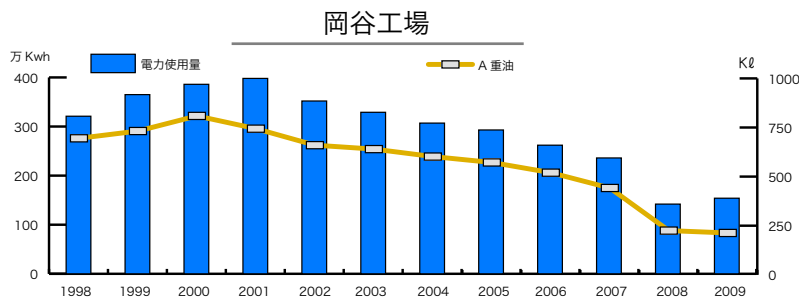
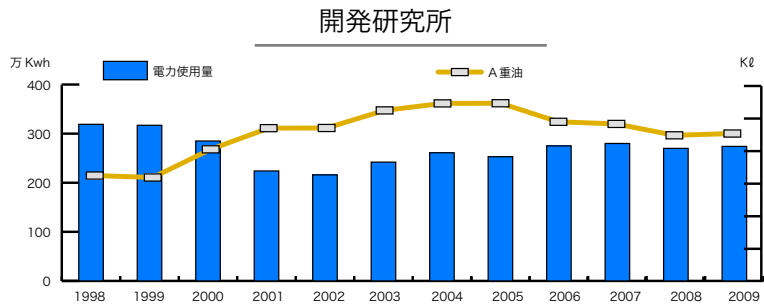
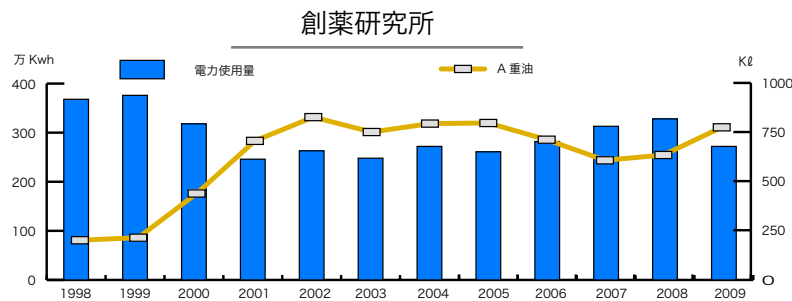
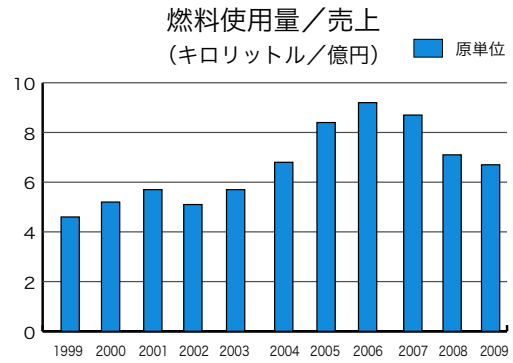
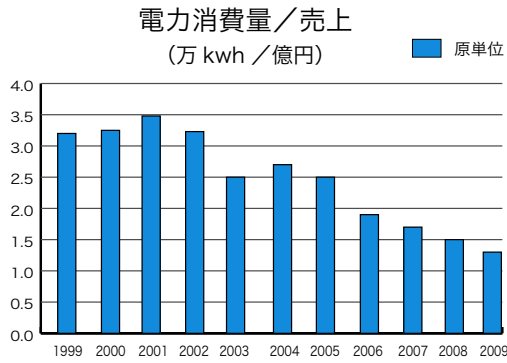


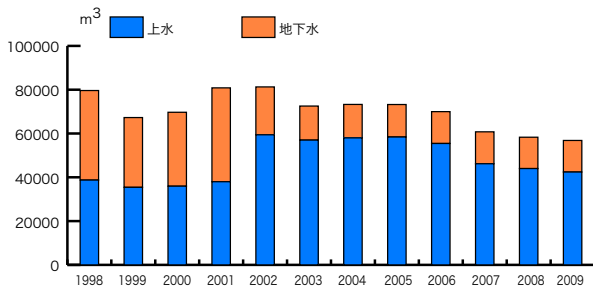
# 環境に関するデータ

## 電力・燃料の推移

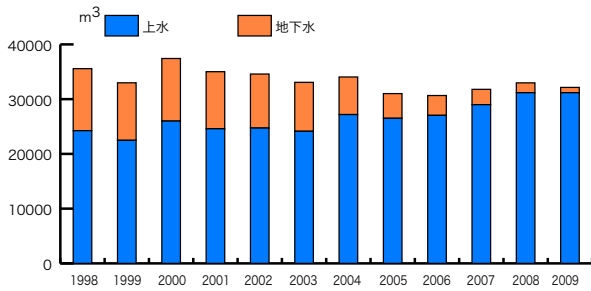


## 水使用量推移

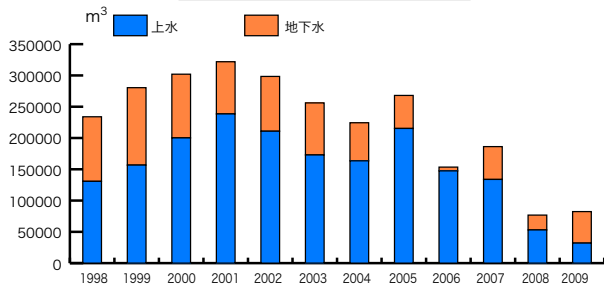
創薬研究所



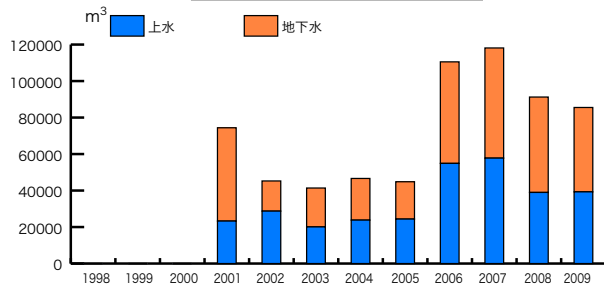
開発研究所



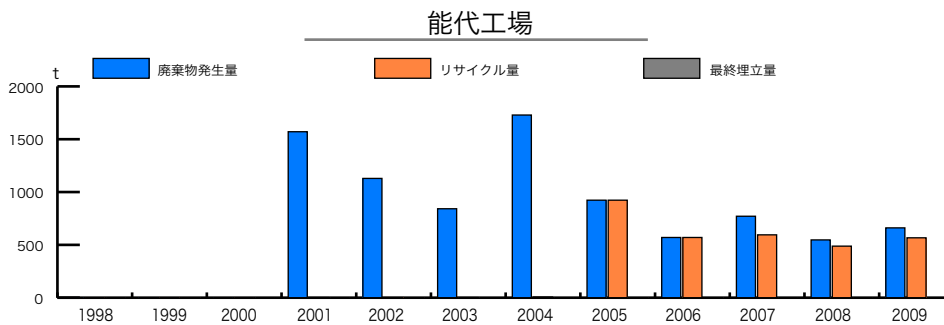
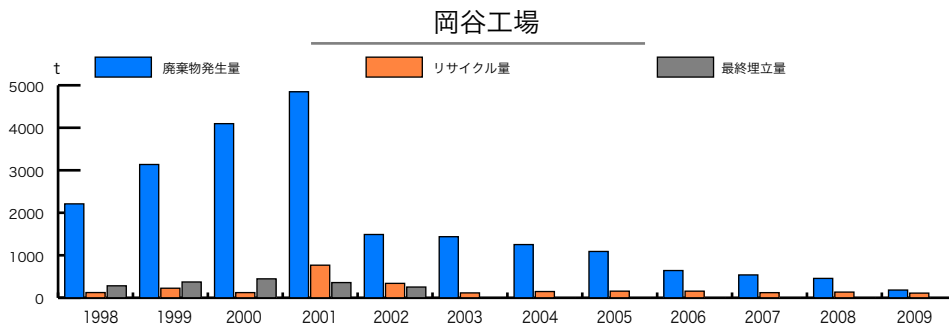
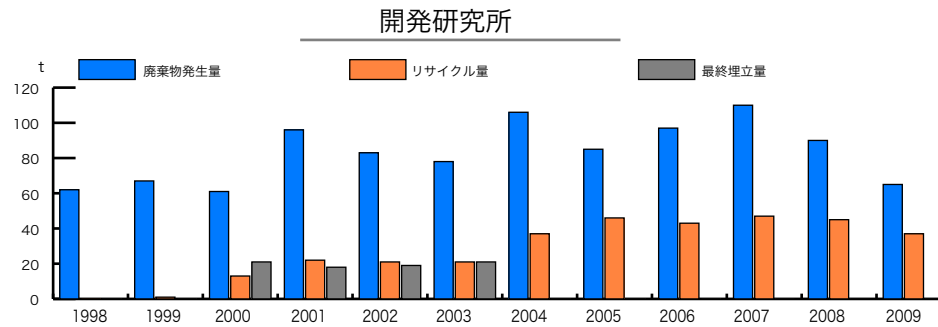
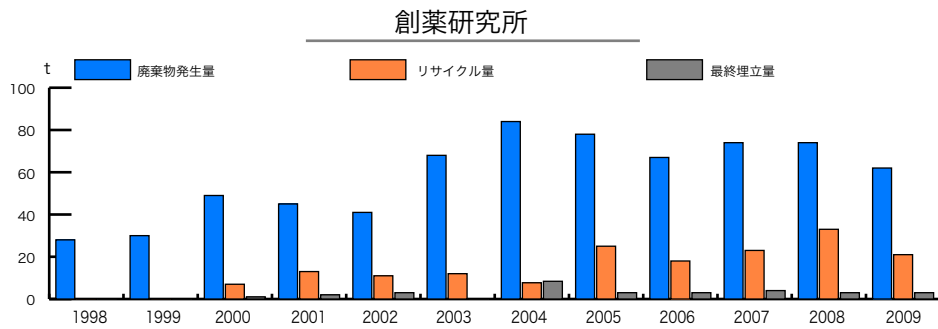
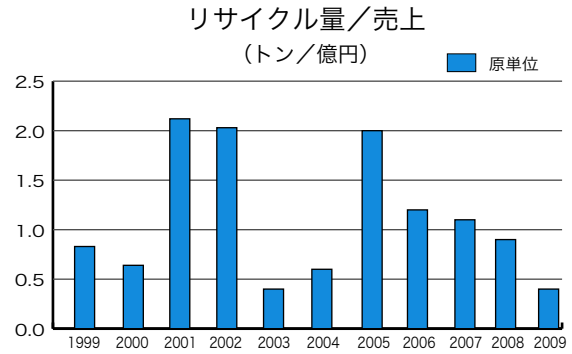
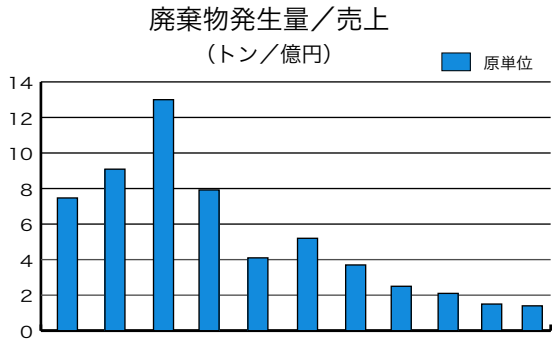
岡谷工場



能代工場



## 廃棄物発生量推移



## 排水関係データ

事業所名	区分	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	規制値
創業研究所	PH	7.1	6.9	7.1	7.2	7.2	7.1	7.2	7.2	5.8～8.6
	BOD	1.06	1.04	1.1	1.4	1.1	1.3	1.1	1.3	25
	SS	1.0以下	1.0以下	1.0	1.2	1.0以下	3.8	1.3	4.2	50
開発研究所	PH	7.1	7.4	7.3	7.4	7.3	7.2	7.3	7.3	5.8～8.6
	BOD	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	25
	SS	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	1.0ppm以下	50
岡谷工場	PH	8.2	8.1	8.1	8.0	8.1	7.5	7.7	7.8	5.8～8.6
	BOD	10	8	9	5	36	12	6	4	300
	SS	71	31	18	14	71	22	21	13	300
能代工場	PH	7.2	6.7	6.8	6.7	7.1	7	7.4	7.1	5.8～8.6
	BOD	11.0	6.5	8.0	8.0	12	10	0.5未満	8.3	300
	SS	11.0	13.8	1.2	30.0	15	7	5	4.2	300

## 煤塵関係データ

事業所名	種類	測定項目	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	規制値
創業研究所	ボイラー	ばい塵 g/Nm <sup>3</sup>	0.003	0.003	0.005	0.0025	0.002	0.0028	0.0035	0.0037	0.5
		NO <sub>x</sub> ppm	91	80	78	86	86	97	93	79	260
		SO <sub>x</sub> Nm <sup>3</sup> /H	0.018	0.016	0.018	0.016	0.017	0.018	0.0197	0.011	14.5
	発電機	ばい塵 g/Nm <sup>3</sup>	0.016	0.022	0.022	0.031	0.022	0.015	0.033	0.046	0.1
		NO <sub>x</sub> ppm	598	638	623	630	711	681	670	650	950
		SO <sub>x</sub> Nm <sup>3</sup> /H	0.009	0.011	0.011	0.006	0.016	0.012	0.018	0.011	14.5
開発研究所	ボイラー	ばい塵 g/Nm <sup>3</sup>	0.005	0.003	0.003	0.003	0.003	0.009	0.004	0.004	0.5
		NO <sub>x</sub> ppm	70	88	63	102	79	110	125	88	260
		SO <sub>x</sub> Nm <sup>3</sup> /H	0.01未満	0.02	0.013	0.011	0.012	0.002	0.01	0.014	14.5
	発電機	ばい塵 g/Nm <sup>3</sup>	0.009	0.057	0.078	0.019	0.015	0.02	0.027	0.031	0.1
		NO <sub>x</sub> ppm	567	693	560	639	612	607	650	692	950
		SO <sub>x</sub> Nm <sup>3</sup> /H	0.01未満	0.019	0.014	0.006	0.017	0.007	0.01	0.015	14.5
野木工場	ボイラー	ばい塵 g/Nm <sup>3</sup>	0.005	0.002	0.003	0.002					0.5
		NO <sub>x</sub> ppm	95	75	90	87					260
		SO <sub>x</sub> Nm <sup>3</sup> /H	0.19	0.024	0.023	0.026					14.5
岡谷工場	ボイラー	ばい塵 g/Nm <sup>3</sup>	0.002	0.002未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.3
		NO <sub>x</sub> ppm	76	63	73	43	79	50	49	55	180
		SO <sub>x</sub> Nm <sup>3</sup> /H	0.040	0.030	0.040	0.047	0.040	0.024	0.023	0.002	4.91
能代工場	ボイラー	ばい塵 g/Nm <sup>3</sup>	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.3
		NO <sub>x</sub> ppm	50未満	50未満	50未満	60	50未満	59	55	66	なし
		SO <sub>x</sub> Nm <sup>3</sup> /H	0.080未満	0.027未満	0.087未満	0.07	0.034未満	0.075未満	0.075未満	0.075未満	1.4

## 用紙使用量推移

年度	集計範囲	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
枚数	工場・研究施設・本社	569万枚	493万枚	515万枚	476万枚	541万枚	510万枚	508万枚	466万枚	538万枚	576万枚
	全社(支店含む)	—	—	—	903万枚	971万枚	1,015万枚	1,103万枚	1,121万枚	1,220万枚	1,320万枚

## PRTR 使用量推移

化学物質名	使用量								PRTR法の 届け出対象品目
	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	
アセトニトリル	132.0 t	34.7 t	74.2 t	36.6 t	12.4 t	14.5 t	2.8 t	2.3 t	○
エチレンオキサイド	26.4 t	22.5 t	30.0 t	25.9 t	13.6 t	25.3 t	0.0 t	0.0 t	○
ホウ素及びその他の化合物	7.5 t	3.9 t	8.2 t	4.1 t	1.1 t	1.0 t	0.0 t	0.0 t	○
エチレングリコール	1.5 t	1.5 t	0.02 t	0.46 t	0.95 t	0.001 t	0.003 t	0.000 t	—
キシレン	—	—	0.1 t	0.2 t	0.1 t	0.2 t	0.2 t	0.3 t	○
クロロホルム	—	—	0.5 t	0.8 t	0.8 t	0.5 t	2.3 t	1.3 t	○
ピペラジン	120.0 t	99.1 t	77.8 t	75.8 t	42.8 t	3.9 t	0.0 t	0.0 t	○
トルエン	—	—	0.3 t	0.9 t	2.4 t	2.5 t	1.3 t	0.4 t	○
N,N-ジメチルホルムアミド	—	—	0.4 t	0.5 t	1.8 t	2.1 t	0.5 t	0.3 t	○
ジクロロメタン	0.9 t	0.9 t	1.9 t	1.0 t	1.0 t	0.8 t	1.6 t	1.0 t	○

## 騒音関係測定データ (2009年度)

事業所名	規制値 (db)		測定値 (db) 年間最高値	
	昼	夜	昼	夜
創薬研究所	昼	65 以下	昼	58
	夜	50 以下	夜	40
開発研究所	昼	65 以下	昼	48
	夜	50 以下	夜	45
岡谷工場	昼	70 以下	昼	45
	夜	65 以下	夜	47
能代工場	昼	65 以下	昼	49
	夜	50 以下	夜	45

## 環境会計

□ ■ 環境に関するデータ ■ □

1、環境保全コスト（集計期間 2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日）				単位：万円	
項目	内容	設備投資額（万円）	費用額（万円） ランニングコスト 減価償却費等		
事業所エリア内 コスト	(1) 公害防止コスト	排水処理装置等の維持管理費用等	381	15,552	
	(2) 地球環境保全コスト	CO <sub>2</sub> 、オゾン等の対策費用	7,261	1,774	
	(3) 資源循環コスト	廃棄物の処理、リサイクル費用		4,888	
上下流コスト		エコペーパー、グリーン備品購入費用等		4,901	
管理活動コスト		審査費用、監視測定、教育等の費用	0	4,661	
研究開発コスト			0	0	
社会活動コスト		地域社会との関係に要した費用	0	239	
環境損傷コスト			0	0	
合 計			7,642	32,015	
2、環境保全効果					
効果の内容	指 標	単 位	削減量 (2009 年度)	負荷量（発生量） (2009 年度)	
事業所エリア内 における効果	投入資源に関する効果	エネルギーの使用電気	万 kwh	116	1,372
		燃料の使用 重油	㌔リットル	-140	1,895
		燃料の使用 灯油	㌔リットル	94	3,887
		紙の使用	t	-4	53
		化学物質の使用	t	-55	684
		溶媒の使用	t	-4	24
	排出する環境負荷及び 削減に関する効果	廃棄物の発生量	t	180	979
		大気への排出量	t CO <sub>2</sub>	1,415	18,966
		同上*	t NO <sub>x</sub>	-66,150	97,360
	排出物のリサイクル効果	排出水	t BOD	-172	834
廃棄物のリサイクル量			44	742	
	溶媒の使用リサイクル量		4	0	
3、環境保全対策に伴う経済効果				単位：万円	
収 益	廃棄物のリサイクル収入		0		
節減費用使用エネルギーの節減					
経費節減	使用エネルギーの節減		46,713		
	廃棄物のリサイクル売却収入		7		
	廃棄物削減に伴う処理費用の節減		0		
合 計		46,720			

\* コージェネの排出量も含む

## 環境会計算出基準

- ・ 集計は原則全社を対象にしておりますが、一部支店分は未集計です。
- ・ 燃料の使用、大気への CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub> 排出量環境省ガイドラインの係数を使用しましたが、営業車両によるガソリンの部分は除外しています。
- ・ 費用算出基礎となる人件費は平均賃金を使用しています。
- ・ 減価償却費は財務会計上の償却額を費用額に算入しています。
- ・ 費用額、環境保全対象に伴う経済効果について不確定項目は除外して算出しました。

本年度の当社における環境会計は、環境省による「環境会計ガイドライン 2002 年版」を参照し、算出表示いたしました。

# 労災件数に関するデータ

## 工場・研究事業所所在地労災件数データ

